

はくがくニュース No.13

仁風閣

見るなら今！～見どころあれこれ 12月から修理のため5年間休館します。



鳥取城跡にある「仁風閣」を知っていますか？

真っ白でとっても大きな洋館「仁風閣」は、今から116年前（明治40年）に当時の皇太子（のちに大正天皇になる人）が鳥取へ訪問された時に宿泊所として使用された建物です。

わずか8ヶ月の突貫工事で建てられたものですが、今は「国の重要文化財」として鳥取の大切な場所になっています。

皇太子が鳥取へ到着される日に合わせて、鳥取県に初めて「電気」が整備されました。そして鳥取県内で初めて電灯がともった所が仁風閣です。

この時、電気の他に鉄道、ガス、電話なども整備され、鳥取の街が大きく発展していくきっかけになりました。

その後鳥取市に大きな水害や大地震、そして大火災が襲いました。鳥取の街の建物や橋が何度も燃え崩れ壊れてしまい、とても大きな被害が出ましたが、仁風閣は奇跡的にこのままの姿で残ってきたのです。

そして古くなった仁風閣を取り壊す計画もありましたが、市民による文化財保存運動が起こり、結局取り壊されませんでした。

それから仁風閣は鳥取の文明開花の象徴として大切に保存されています。

仁風閣の建物の中には、日本でも貴重な「支柱を使わないらせん階段」や昔から残る「ゆがんだ窓ガラス」、レゴで作られた見事な仁風閣などがあります。

仁風閣は有名な所で、映画「るろうに剣心」や漫画「夏目友人帳」「ハチミツとクロバネ」などにもたびたび登場しています。

2023. 6.13 発行
(公財) 鳥取市文化財団
博学連携推進プロジェクト
鳥取市歴史博物館内
Tel. 0857-23-2140
E-mail info-hakugaku@tbz.or.jp

博学連携推進プロジェクト HP
<https://www.tbz.or.jp/project/>



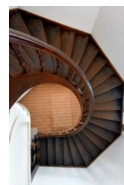
また、仁風閣がある所に、昔、江戸時代にここへ住んでいたお姫様のためにつくられた「宝隆院庭園」や、「鳥取城」の石垣が残っていて、江戸時代の雰囲気味わうことができる貴重な所です。

しかし、この仁風閣は建物がとても古くなり、雨漏りもひどくなってきたので、このたび約50年ぶりの「文化財修理工事」を行うことが決まりました。

今年の12月下旬から約5年間お休みとなり、この建物の中には入れなくなります。その前に今の仁風閣と宝隆院庭園を皆さんで観に来てみませんか？

（坂根達哉／仁風閣館長）

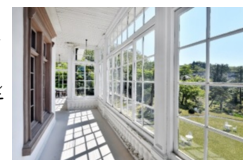
「支柱のないらせん階段」は、樫という硬い木で作られていて日本中さがしてもみつからない貴重なものです。



江戸時代に築かれた城の石垣と明治時代の建物を一緒に見ることができるところは日本中探しても珍しいです。



2階のベランダから緑いっぱいの庭園を眺めることができ、窓ガラスを見ると昔の手作りのものが残っています。



皇太子がくつろがれた「御座所」です。電灯や椅子、カーテンボックスなど昔のものがたくさん残っています。



青谷上寺地遺跡展示館

今年度中で閉館します。

令和5年度、「鳥取県立青谷かみじち史跡公園」の一部がオープンする予定です。青谷上寺地遺跡の「すごい」を感じていただくため、2001年（平成13）8月11日に開館した青谷上寺地遺跡展示館ですが、史跡公園のオープンに伴って閉館します。開館以来大変多くの皆様にご来館いただき、本当にありがとうございます。当館は閉館しますが、青谷上寺地遺跡は不滅です。これからも青谷上寺地遺跡でたっぷり楽しみたい。

なお展示館では、閉館に向けてまだまだ楽しいイベントを計画していきます。この機会にぜひ鳥取市青谷上寺地遺跡展示館にご来館ください。（山田真宏／鳥取市青谷上寺地遺跡展示館副館長）



（上）鳥取市青谷上寺地遺跡展示館の外観

（下）展示室